

インドの歴史と 日本との関係

180781222

山名里奈

はじめに

- a) 2021年11月 第26回気候変動枠組み条約締約国会議（COP26）→2070年までに温暖化ガス排出の実質ゼロ
- b) 同年9月 菅首相とナレンドラ・モディ首相が対談 連携確認、コロナ対応



1章 イギリス支配のインド

—

第1節 インドの概要

- a)人口：13億6,641万人（世界2位）
- b)面積：約329万km²（日本の9倍）
- c)首都：ニューデリー
- d)首相：ナレンドラ・モディ



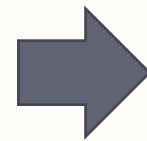
第1節 インドの概要

a) インドの経済状況

独立後～

1991年
外貨危機

輸入代替工業化
政策



転換

高い実質成長
を達成

第2節 イギリス植民地下のインド

a) 1830～40年代
⇒ イギリスの独断状態

b) 1857～58年
インド大反乱が北インド
一帯で勃発



第2節 イギリス植民地下のインド

a) 1858年

イギリスによるインド直接統治が開始

⇒ 植民地が開始

b) 19世紀末～20世紀初め

⇒ 植民地支配の最盛期



第3節 第一次世界大戦後のインド

a) 1917年8月 インド担当国務大臣
「イギリス政府はインドにおいて責任政府を実現
そして、斬新的に自治制度を導入」

責任政府実現 = 自治制度の成立

第3節 第一次世界大戦後のインド

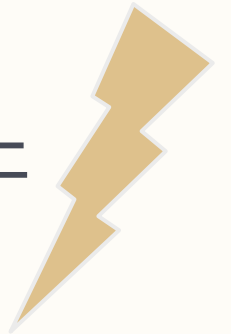
a) 1919年 「モンタギュー・チェムズフアド改革」

b) 1919年1月 「ローラット法」

c) 1919年4月 アムリトサルでの虐殺事件



ガンディー 「非暴力・不服従」運動開始





第2章

20世紀後半の 政治・経済

—



第1節 インドの独立運動

a) 1939年9月3日

イギリス&インド ドイツに宣戦布告

しかし、

インドへの相談皆無→イギリスが独断で決定



第1節 インドの独立運動

a) 第二次世界大戦がインドの政治に影響大！

b) イギリス→インドの戦争協力が必要！

c) 1942年「クウィット・インディア」運動決行

第2節 分離・独立

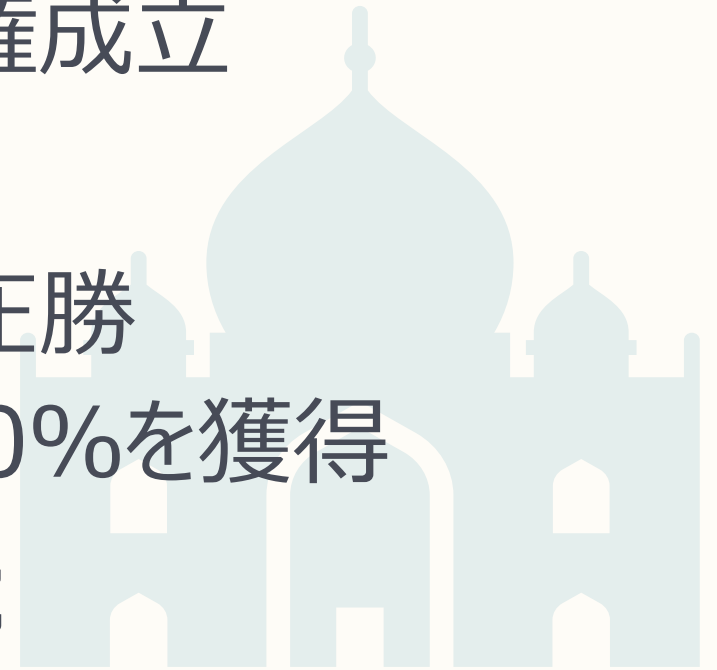
a) 1945年7月 アトリー政権成立

b) 選挙実施

結果：一般議席 会議派圧勝

ムスリム議席 連盟90%を獲得

⇒イギリスと対等に交渉可能



第2節 分離・独立

a) 1947年8月15日 **インド独立**

b) 前日に、パキスタンが誕生

多民族・多言語・多宗教
国民国家建設の開幕

第3節 パキスタンとの対立

a) 大小の藩王国→パキスタンかインドに帰属

帰属基準 ①地理上どちらかの国に隣接

②住民の多数派宗教

ジャンム・カシュミール藩王国はどちらに帰属？



第3章

現代インドの 諸問題

—

第1節 マハトマ・ガンディー暗殺から ネルー時代へ

a) 1948年1月30日

慣習


公衆の前での祈り



b) ガンディー反対派

N. ゴードセーはピストルでガンディーを暗殺





第1節 マハトマ・ガンディー暗殺から ネルー時代へ

a)ネルー ガンディーとは異なる思想

b)政教分離主義の登場



政治と宗教を分離し、互いに干渉することを禁止すること。

第2節 中国との国境紛争

対立のきっかけ

a)チベット

中国からの独立を訴え反乱

b)ダライ・ラマ14世 インド亡命



第3節 印パ戦争と首相交代

- a) 1965年 印パ関係が緊迫 戦争に突入
- b) 1966年 ソ連の仲介で開戦前の状態に戻る
- c) 1971年 バングラデシュ独立を巡って戦う

インドが圧倒的に優勢

第3節 印パ戦争と首相交代

- a) 1971年 シャーストリー首相が急死
- b) 1971年～1984年 インディラ・ガンディー首相
- c) 1984年～1989年 ラジーヴ・ガンディー首相
- d) 1989年～2014年 政権交代が続く
- e) 2014年～ナレンドラ・モディ首相



第4章

近代化が進む インド

—

第1節 インド経済

a)1991年 経済危機

原油価格上昇、出稼ぎ労働者の送金減少



国際収支危機に陥る

b)対策：IMFなどの緊急融資を受け入れる



第2節 インド外交

a) 非同盟政策

軍事同盟不参加、自主的外交、友好関係

b) 世界の大国

他国からの影響力行使に抵抗できる能力

他国に対する影響力を行使できる能力

第2節 インド外交

c) 国際政治秩序 上海協力機構 (SCO)

2001年創設 6カ国で構成

2005年 オブザーバー加盟国

d) 国際経済秩序 BRICS首脳会議

第3節 日本とインド

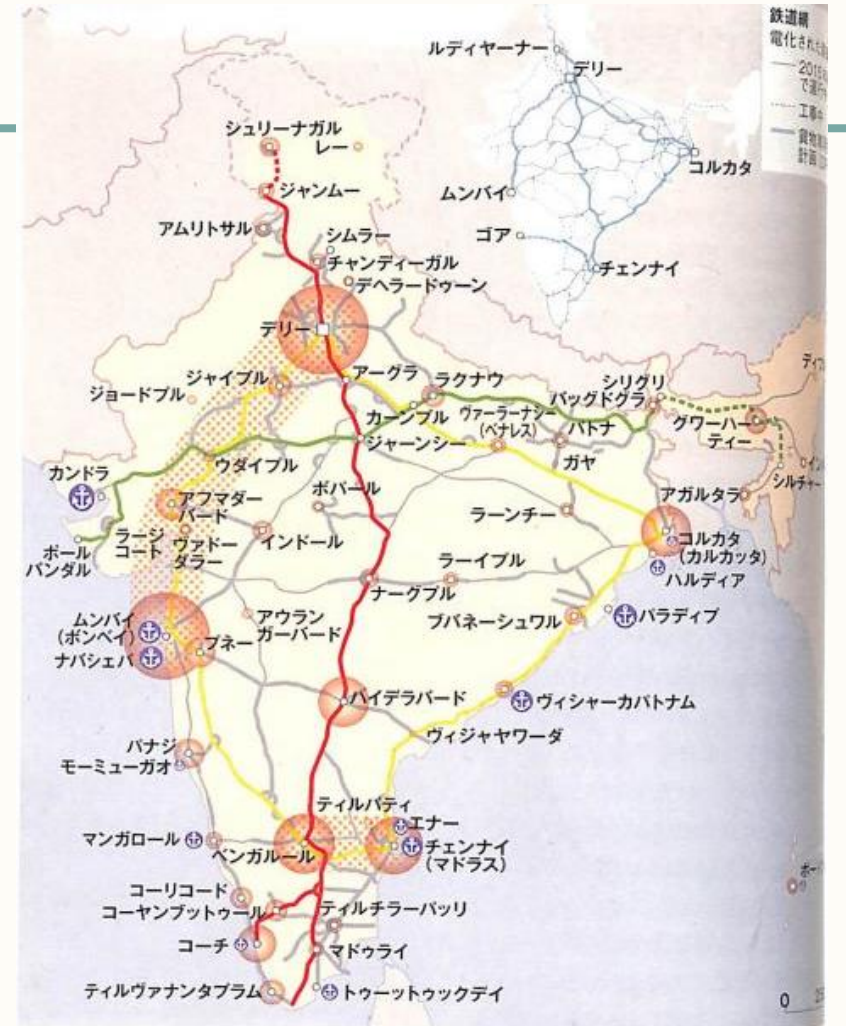
a) 地下鉄デリー・メトロ (2002年開通)

日本の政府開発
援助 (ODA) の
足跡



第3節 日本とインド

b) デリー・ムンバイ産業大動脈プロジェクト (DMIC)





終章

今後の展望

—


インド経済の今後の展望

a) 経済発展に肯定的

- ① GDPの成長率が中国を上回る
- ② メイク・イン・インドに期待

b) 課題の多さを指摘

- ① 貧困
- ② ワクチン接種3割強
- ③ 労働規制改革法×



インド経済の今後の展望

b)課題の多さを指摘する見地を支持

問題を放置した状態での成長は難しい

1. 失業率の低水準化
2. 医療体制の強化 に取り組むべき！

ご清聴ありがとうございました

—